



22

げつようび

# みことばの ちからを しる わたしに おきる こと

創世記  
12章1節

主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。

聖書に記録されている信仰の先祖がいます。アブラハムです。神様がアブラハムに「あなたの故郷、親戚、お父さんの家のすべてを捨てて離れなさい！」とおっしゃいました。アブラハムが信仰の先祖になる鍵をくださるためでした。

最初に、このみことばは、過去の背景から出なさいという意味です。サタンは、人間に私中心、楽しいこと中心、成功中心に生きようようにさせます。これは、人間を静かに殺すサタンの文化です。ここから出て来なさいと言われます。二つ目、いま降りかかっているわざわいから離れなさいと言われます。神様のようになりたい、まちがった宗教、まちがった主人、まちがった集中から抜け出して、ただイエス・キリストを信じるとき、生かされる奥義を体験しなさいと言われたのです。三つ目、未来に対応しなさいと言われます。神様がアブラハムに「あなたと、あなたの子孫に福音を与える」と約束されました。また「民族と国々が生かされる世界福音化をする」という約束もいただきました。このように、神様がくださった約束を契約としてかたく握りなさいと言われます。

信仰の先祖アブラハムのように、神様が私とともにおられることを信じましょう。そして、3つのまちがったことを捨てるように祈りましょう。毎日、私がいる所でサタンの文化に勝つレムナントになるでしょう。

みことば

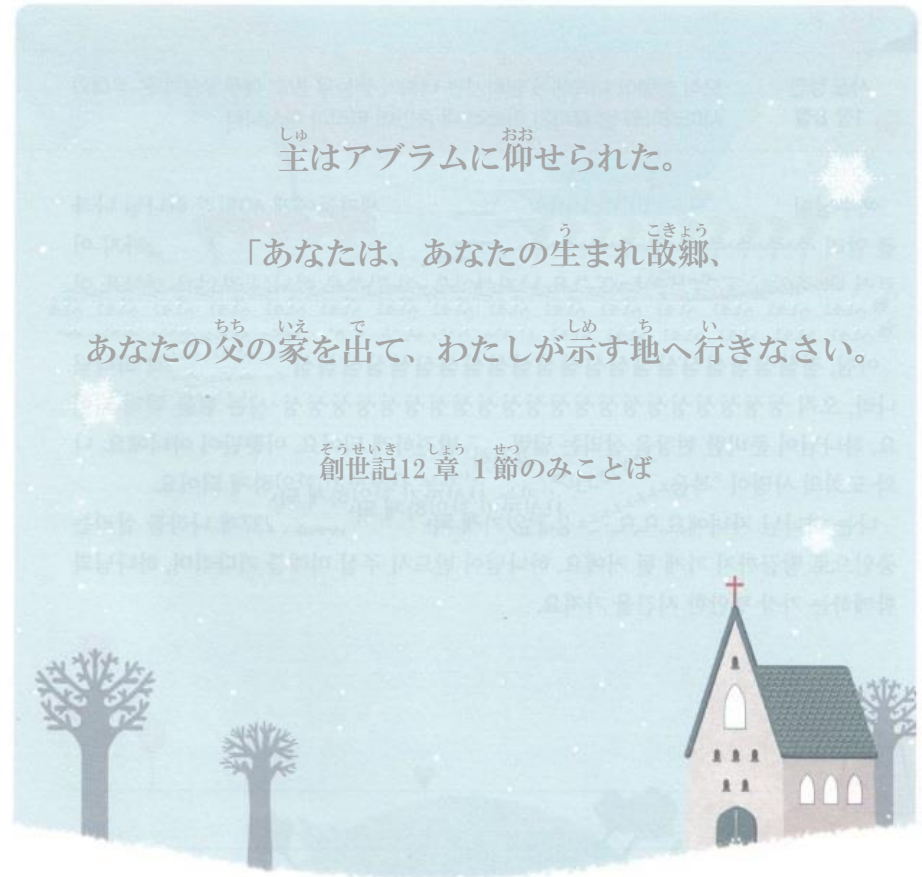
Blank lines for writing the word of the day.

みことばのいのり

父なる神様！アブラハムのように、私に世界福音化の契約をくださって、ありがとうございます。福音ではない、まちがった宗教、まちがった主人、まちがった集中を捨てることができますように。そして、ただイエス・キリストだけが主人となるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様がアブラハムにくださった契約は、私と神様との契約になりました。  
書いてみよう その証拠のみことばをなぞって書いて、大きな声で読みましょう。



主はアブラムに仰せられた。

「あなたは、あなたの生まれ故郷、

あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。

創世記12章1節のみことば

みことばのでんどう

あひと  
会う人

じゆんび しりょう  
準備する資料

Blank grid area for writing names and preparation materials.



# 23

かようび

## ちの はてまで しょうにと なります

使徒  
1章 8節

しかし、聖霊<sup>せいれい</sup>があなたがたの上に臨<sup>うへ</sup>まれるとき、あなたがたは力<sup>ちから</sup>を受<sup>う</sup>けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土<sup>ぜんど</sup>、および地<sup>ち</sup>の果<sup>は</sup>てにまで、わたしの証人<sup>しょうにん</sup>となります。

イエス様が十字架<sup>くわじ</sup>で死<sup>し</sup>んで復活<sup>ふっかつ</sup>されました。このとき、弟子<sup>でし</sup>たちに40日間<sup>にちかん</sup>、神<sup>かみ</sup>の国<sup>くに</sup>を知らせてくださいました。そして最後<sup>さいご</sup>に「しかし（ただ）聖霊<sup>せいれい</sup>があなたがたの上に臨<sup>うへ</sup>むとき、地<sup>ち</sup>の果<sup>は</sup>てにまで、わたしの証人<sup>しょうにん</sup>となります」というみことばを残<sup>のこ</sup>されました。このみことばは、神<sup>かみ</sup>の子ども<sup>こども</sup>が世<sup>よ</sup>の中に勝<sup>か</sup>てるように与<sup>あた</sup>えられた最後<sup>さいご</sup>の命令<sup>めいれい</sup>です。どのようにすれば、私<sup>わたし</sup>に答<sup>こた</sup>えのみことばとなるのでしょうか。

朝<sup>あさ</sup>、昼<sup>ひる</sup>、夜<sup>よる</sup>に最<sup>も</sup>も平安<sup>へいあん</sup>な時間<sup>じかん</sup>を見<sup>み</sup>つけましょう。そして、ただキリスト、ただ神<sup>かみ</sup>の国<sup>くに</sup>、ただ聖霊<sup>せいれい</sup>を深<sup>ふか</sup>く考<sup>かんが</sup>えましょう。この時間<sup>じかん</sup>を持<sup>も</sup>てば、神<sup>かみさま</sup>様がく<sup>く</sup>ださる力<sup>ちから</sup>を受<sup>う</sup>けるようになります。神<sup>かみさま</sup>様が準備<sup>じゆんび</sup>された現場<sup>げんば</sup>を生<sup>い</sup>かすタラントも発<sup>はっけん</sup>見<sup>けん</sup>するようになります。それだけではありません。私<sup>わたし</sup>と教会<sup>きょうかい</sup>の使命<sup>しめい</sup>が「福音<sup>ふくいん</sup>の光<sup>ひかり</sup>を照<sup>て</sup>らすこと」という事<sup>じじつ</sup>実<sup>じつ</sup>まで確<sup>かく</sup>認<sup>にん</sup>するようになります。

私<sup>わたし</sup>は神<sup>かみ</sup>の子ども<sup>こども</sup>です。最後<sup>さいご</sup>の命<sup>めい</sup>令<sup>れい</sup>を持<sup>も</sup>って、暗<sup>くら</sup>やみがいっぱいになっている237か国<sup>こく</sup>を生<sup>い</sup>かす証人<sup>しょうにん</sup>として、地<sup>ち</sup>の果<sup>は</sup>てまで行<sup>い</sup>くようになるでしょう。神<sup>かみさま</sup>様が必<sup>かなら</sup>ずく<sup>く</sup>ださる未<sup>み</sup>来<sup>らい</sup>を待<sup>まち</sup>ちながら、神<sup>かみさま</sup>様ととも<sup>も</sup>に在<sup>あ</sup>る最<sup>も</sup>も平安<sup>へいあん</sup>な時間<sup>じかん</sup>を持<sup>も</sup>ちましょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

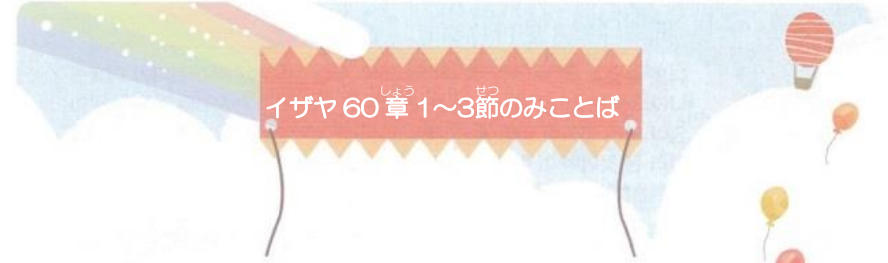


きょうのいのり

父<sup>ちち</sup>なる神<sup>かみさま</sup>様！私<sup>わたし</sup>を神<sup>かみ</sup>の子ども<sup>こども</sup>、伝<sup>でん</sup>道<sup>どう</sup>者<sup>しや</sup>として呼<sup>よ</sup>んでくださって、ありがとうご<sup>う</sup>ざいます。暗<sup>くら</sup>やみの中<sup>なか</sup>で死<sup>し</sup>んでい<sup>い</sup>く人<sup>ひと</sup>々<sup>びと</sup>を、地<sup>ち</sup>の果<sup>は</sup>てまで生<sup>い</sup>かすことができるように準備<sup>じゆんび</sup>させてください。生<sup>い</sup>きておられるイエス・キリストのお名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>によってお祈<sup>いの</sup>りします。アーメン



私<sup>わたし</sup>は地<sup>ち</sup>の果<sup>は</sup>てまで、神<sup>かみさま</sup>様の証<sup>しょうにん</sup>人<sup>にん</sup>として福<sup>ふくいん</sup>音<sup>おん</sup>を伝<sup>つた</sup>えるようになるでしょう。聖<sup>せい</sup>書<sup>しょ</sup>には、私<sup>わたし</sup>に福<sup>ふくいん</sup>音<sup>おん</sup>の光<sup>ひかり</sup>が臨<sup>のぞ</sup>んだというみことばがあります。自分<sup>じぶん</sup>で聖<sup>せい</sup>書<sup>しょ</sup>から探<sup>さが</sup>して、書<sup>か</sup>きながら、感<sup>かん</sup>謝<sup>しや</sup>の祈<sup>いの</sup>りをささげましょう。



イザヤ 60章 1~3節のみことば



きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゆんび  
準備する資料

Grid area for writing names of people to pray for.

Blank lines for writing preparation materials.

## みらいの わたしの すがた

すいようび

ローマ  
16章 25~26節

私の福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが、今や現わされて、永遠の神の命令に従い、預言者たちの書によって、信仰の従順に導くためにあらゆる国の人々に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを堅く立たせることができる方、知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

礼拝をささげながらみことばを聞くと、そのみことばが心にぶつかれば、信仰と神様がくださる力が生まれます。そうすれば、どんどん学校生活が意味あるように感じることができます。なにをしても「神様の計画はなんですか」と神様に尋ねる祈りになります。そのような私に、神様は、福音が必要な友だちを送ってください、その友だちが福音を聞けるようにしてくださるのです。

まだ私は幼いのですが、人を生かす福音の奥義を体験することができます。そのような私に、神様が準備された未来の姿があります。最初に、福音が刻印されて、根をおろして、体質になった重職者として私を立てられるでしょう。私を通して福音を必要としている人々を生かす計画があるからです。二つ目、伝道と宣教のためにお金をかせぐ産業人になるようにされるでしょう。伝道者を思いきり助けられるようにしていただきます。三つ目、伝道者を助けて福音を伝える世界宣教するチームとして、私を用いることを望んでおられます。

今日もみことばで私の信仰が育つ霊的時間を持ちましょう。神様が福音のように隠された重要な奥義を、私を通して成し遂げられるでしょう。



### きょうのみことば

---



---



---



### きょうのいのり

父なる神様！きょうみことばを通してくださった福音と祈りが回復しますように。未来に重職者として、産業人として、伝道者を助ける宣教チームとして、私を用いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



1月には、どんな友だちのなやみを分かち合うのかな。  
なやんでいます



パク・ウヨン牧師夫人！  
わたし、  
なやんでいます！  
いつもママにおこられてばかりいます。  
わたしはなぜ、そうなるのでしょうか。

ジョン・ヒョンウ レムナント  
ーキョンインインマヌエル教会

ママにおこられるのではなく、ほめられたいのに、臆うとおりにならないから、悩んでいるのですか。おにも、どんなことで、どのようにおこられるのか、知りたいです。もし、おこられる理由の大部分が、じっとしていられず、集中できないことが原因ならば、一人の力ではよくならない病気である場合もあります。いわゆる ADHD (注意欠如多動性障害: attention deficit/ hyperactivity disorder) である場合です。この場合には、お医者さんの助けも必要です。

しかし、ママに言われたことを守らなくて、よくおこられるならば違います。なぜ守ることができないのか、守ろうとするならどんな部分を変えなければならないのか、自分をよく見てみなければなりません。たとえば、ゲームをするでしょう。やめなさいと言われていのに、ずっとゲームをしていたり、成績が落ちておこられる場合、また、うそや盗み、友だちといっしょに遊んでいて家に帰るのが遅くなること、兄弟げんかでおこられるなら、祈りの深い奥義を体験しなければなりません。

福音は十分で完全です。おもにおこられる理由を神様に言って、変わることができますようにと祈りましょう。近いうちに、主がみことばで答えをくださるでしょう。



### きょうのでんどう

### 会う人

---



---



---

### 準備する資料

---



---



---

## このよを いかす 미래の じゅうしょくしゃ

ローマ  
16章 23節

わたしと全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと書いています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと書いています。

世の中の流れが変わっていています。最も大きな流れは職業です。人々がしていた仕事を、機械がかわってする姿を簡単にみることができます。ところが、これから迫ってくる第4次産業革命（人工知能の技術と、情報通信の技術が合わさって、生産とサービスが知能化され、経済、社会に大きな変化が起きること）の時代には、さらに多くの人の職業が消えると言われています。

時代がずっと変化するように、霊の流れも変化しています。サタンは、さらに多くの人をだまして倒すために、暗やみの文化の流れを大きくしています。人々はますます霊的問題に陥るようになるでしょう。しかし、心配しなくてもよいのです。これらすべてのものをご存知である神様は、すでに未来を知っておられます。世の中の流れと文化の流れに勝つ唯一の方法である福音までくださいました。それだけではありません。私が通っている教会は、福音を毎日聞ける教会、福音を全国と全世界に宣傳する教会です。このように福音を聞く私は、ローマ16章に記録されているガイオのように成長するでしょう。伝道者を生かして助ける未来の重職者です。

しばらく、少しの間、過ぎていくサタンのささやきにだまされてはいけません。福音の中で世の中を生かす未来の重職者として、今日も準備されているからです。

### きょうのみことば

---



---



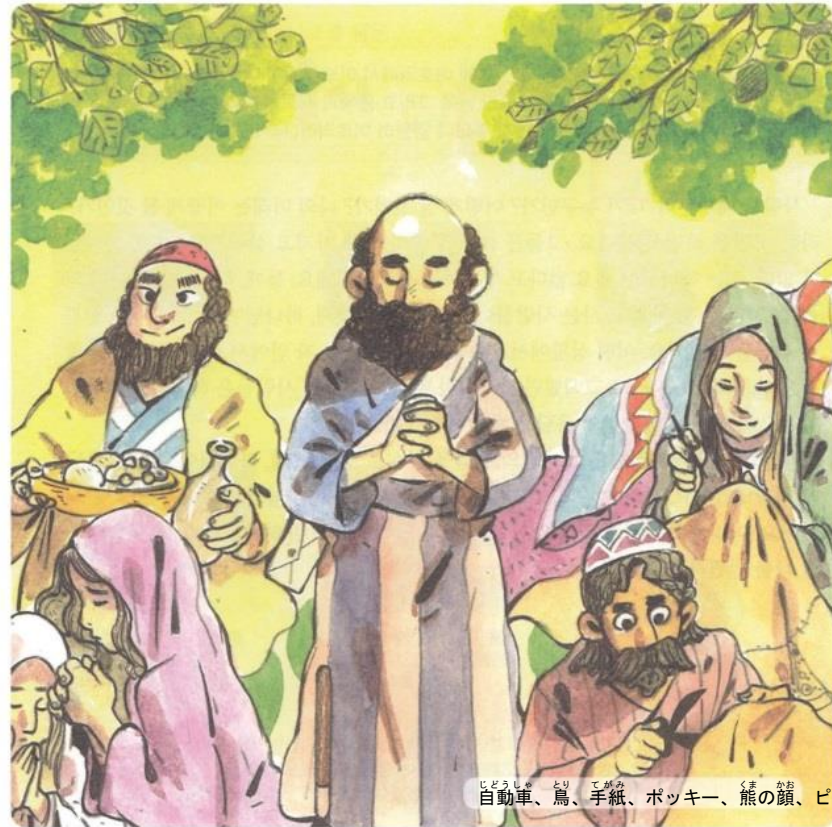
---

### きょうのいのり

父なる神様！まだ小さな子どもである私、福音の流れに入っていく、世の中を生かす未来の重職者になるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

ローマ16章に記録されているガイオは、ヨハネやパウロたちを、一生の間、助けました。ガイオとともにパウロを助けた重職者の姿を見ながら、7つの隠れている絵を見つけましょう。

かくれている  
えを  
さがそう



自動車、鳥、手紙、ポッキー、熊の顔、ピザ、魚

きょうのでんどう

あ ひと  
会う人

じゅんびょう しりょう  
準備する資料

---



---



---

## かみさまが つくられた わたしを はっけんしよう

創世記  
13章 14~18節

ロトがアブラムと別れて後、主はアブラムに仰せられた。「さあ、目を上げて、あなたがいる所から北と南、東と西を見渡しなさい。わたしは、あなたが見渡しているこの地全部を、永久にあなたとあなたの子孫とに与えよう。(14-15)

大部分の人々が「私はだれなのか。どのように生きるのか。私の未来はどうなるのだろうか」と悩みながら生きています。彼らはいろいろな姿の答えを持って生きていきます。最初に、神様はいない、または神様が必要ないと思う人々です。二つ目、神様を信じなければならぬことは分かるのですが、力を失って生きる人々です。三つ目、神様が造られた私を発見した人がいます。どんな状況でも「私を強くしてくださいる方によって、どんなことでもできるのです。」(ピリピ 4:13)と告白したパウロのようにです。このような人々は、神様のみことばを握って、みことばで神様の答えを受けながら生きていきます。

信仰の先祖アブラハムも、神様のみことばをほんとうに信じたとき、神様のくださる答えがはじまりました。私はイエス・キリストによって救われて、ほんとうに神様の新しい被造物になりました。これは神様がくださった約束です。この約束を信じて、神様とともに世界を生かす私を発見する一日にしましょう。



### きょうのみことば

---



---



---



---



### きょうのいのり

父なる神様！神様の中にいる、ほんとうの私を発見させてくださって、ありがとうございます。私を発見できないでさまよっている友だちに、福音を伝える伝道の門が開かれるように、導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



### ワーク

かみさまがつくられたわたしをかんがえながら、かんしゃすることができるおりがみをしましょう。

### かみさまがつくられた唯一の「私」を入れる がくぶち額縁をつくろう

1 おりがみを半分におります

2 写真のように内側が見えるようにななめに半分おります

3 ひっくりかえて端を写真のようにおきます (同じものを7つ作ります)

4 写真のように紙と紙をさしこんで、離れないように外側にある紙をなかにおきます

5 おなじ方法で7つをつなげて、つなげた部分にのりではります

まんなかの空いているところに私の顔がはいるように写真をはります  
神様が造られた唯一の「私」を入れた額縁ができました！  
私の写真のかわりに友だちの写真を入れて、プレゼントしてもいいですね。

### きょうの でんどう

あひと 会う人

---



---



---

### じゅんびく 準備する資料

---



---



---



27

どようび

# かみさまが ねがっておられる しんでんを かいふくしよう

使徒  
2章 1～13節

五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。 (1-4)

人は霊である神様のかたちとして造られた霊的な存在です。それゆえ、すべての人は神様に会わなければなりません。神様に会えない人々は、神様に会おうと努力します。人の方法では神様に会うことはできません。そうするうちに、宗教と偶像が神様であるかのように思っ、それにはまってしまいます。これが人をさらにほろびに向かわせます。神様は時代ごとにわざわいを防ぎ神殿が回復するとき、すべてが回復するようにされました。神様が願われる神殿だったからです。

神様が願われる神殿があります。初代教会のようです。最初に、偶像文化とわざわい文化を防ぐ、福音を持った神殿です。二つ目、237か国の人々が礼拝して祈る神殿です。三つ目、レムナントが訓練を受けて全世界を生かす神殿です。神様が願われる神殿が私たちを通して回復するように祈りましょう。また、神殿がたてられるように、少ない額でも、建築献金を出すことに挑戦しましょう。神様の神殿である私を通して福音が伝えられる時間を与えてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

父なる神様！私がいまず、神様が願われる神殿を回復するレムナントとして成長するように恵みを増し加えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



見過ごしやすい常識を確認して、豊かな知恵を持ちましょう

生活常識



## けんきん 献金

(gift, contribution)

旧約時代から伝えられてきた慣習 (民数記31:50) で、神様の恵みに感謝して、

神様にささげる「ささげ物」のことを言います (ルカ 21:1)。

ローマ 15:26 には「贖金」と書かれています。

献金は、神様の恵みを通して福音によって救われ、神の子どもになった者の、当然の特権です。自分からすすんで神様がなさることに参加する、喜びの表現でもあります。

献金についての歴史を詳しく見てみましょう。旧約時代には、律法に従って、十分の一といけにえを神様にささげました (レビ 27:30、Ⅱ歴代 34:9)。初代教会の時代は、聖餐に使うパンとぶどう酒などをささげたり、まずしい人たちを救済するために、まず先に、神様にささげ物をささげました (Ⅱコリント 9:8-15)。



きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゅんび  
準備する資料